

# 令和6年度 学校評価報告書（総括書）

あま市立美和東小学校

## 1 総括

### （1）教育目標

校訓を「豊かな人間性をもち、心身を鍛え自己を磨き上げる子」とし、生きる力を支える〔確かな学力〕〔豊かな心〕〔健やかな体〕の調和のとれた児童の育成を図る。

### （2）本年度の重点努力目標

#### ア 生き生きと学び合う子どもの育成

- ・ 子どものさらなる可能性を信じ「やればできる」と勇気づけ、何事にも挑戦できる子どもを育てる。
- ・ 「つなぐ つながる 東っ子」を合い言葉に、異学年交流の場や地域の人と関わる機会を通して多くを学び、自分を見つめ、考えを深め高めていく子どもを育てる。

#### イ 開かれた学校づくりの推進

- ・ 家庭・地域との連携を大切にし、安全・安心で、開かれた信頼される学校づくりに努める。
- ・ 地域の方々と関わり、地域へ出かけて、地域を知り、地域に根ざした学校づくりに努める。

#### ウ お互いが信頼し合える教職員集団と働き方の見直し

- ・ ほんのちょっとした「気配り・心配り」を心がけ、職員同士の意思疎通を大切にし、「チーム力」を生かした教職員集団を創る。
- ・ 一人一人のよさを認め・努力をほめ・不足を励まし・個性やよさを伸ばす指導をする。
- ・ タブレットの有効活用により、文書等の共有化を進め、会議の精選や会議時間の厳守、時間の短縮化に努める。
- ・ 業務の棚卸しと見える化を推し進め、協力体制を整え、処理の円滑化と業務の効率化を図る。

## 2 自己評価の実施体制

- （1）調査時期 令和6年12月3日～ 12月9日
- （2）調査項目 別紙アンケート参照（Google Formにて回答）
- （3）調査対象 有効回答者数／対象者数
  - ・ 児童 281名／全285名 ・ 保護者 188名／全285名 ・ 教職員 20名／全20名

## 3 調査結果

別紙アンケート結果参照

## 4 考 察【児童、保護者、教職員の総括的考察】

### （1）児童の評価

- ・ 全体を通して、肯定的な意見が多く、学校生活において満足と感じている児童が多い。
- ・ 「1. 私は、学校で楽しく生活できています」「22. 学校での学習や生活を通して自分が成長していると思います」に対する肯定的回答（そう思う・どちらかといえばそう思う）が93%であった。しかし、「3. あいさつ」「4. 掃除」「17. 朝の読書」に関する項目では、（そう思う）の割合が少なかった。今後も、児童への継続した指導が必要であると考えます。
- ・ 「9. 悪口をいったり、人を傷つけたりしないよう、言葉づかいに気をつけています」「14. 私は相談できる友達や、話をきいてくれたりアドバイスをしてくれたりする先生がいます」では、肯定的回答がそれぞれ87%、93%だった。今後も、教職員が児童や保護者との信頼関係を深めるとともに、きめ細かな観察により、いじめ等に対する早期発見・早期対応・早期解決につながるよう進めていきたいと考える。
- ・ 「15. 授業中、先生はわかりやすく教えてください」「16. 私は授業中、先生の話や友達の話をしっかり聞いています」では、肯定的回答が97%であった。教職員とともに学習に前向きに取り組んでいることがうかがえる。

### （2）保護者の評価

- ・ 本年度で2回目の「Google Form」によるアンケートを実施だった。紙面以外にもきずなネットでの依頼をしたため回答数は微増した。
- ・ 質問に対して肯定的な意見が多く、子どもが学校生活に満足していると感じている保護者が多いことがうかがえる。
- ・ 「6. 学校は、学校のきまりや約束を守る態度を育てようとしている」「23. 先生は、学校に行っ



たときや電話での対応がていねいである」では、それぞれ 94%、98%と高かった。学校や教職員の取組に対して保護者が理解していると考えられる。

- ・ 「21. コミュニティ・スクールとして学校と保護者、地域が連携・協働し、子どもたちを育てていると思いますか」の（そう思う）の割合が少なかった。平成 29 年 4 月 1 日より施行されたコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組について、まだ地域全体や保護者に十分認知されていないと考えられる。今後も「開かれた学校」から一歩踏み込んだ「地域とともにある学校」への転換を図るために有効な仕組みであることを発信する必要がある。

### (3) 教職員の評価

- ・ 8割以上の質問で 80%以上の肯定的回答になったが、8割に満たない回答も何問もあった。今年度、職員の半数近く入れかわっているため、数値の内容が変化したと考えられる。
- ・ 「15. 私は基礎基本を定着させるための学習や、授業に主体的、対話的な活動などを取り入れるように心がけ、常にわかりやすい授業をめざして工夫している」「16. 私は、授業中、児童が話を聞いているかどうか、確認するように心がけている」の質問に対して肯定的回答が高い一方、「私は、児童の観察メモやノート点検等を資料化するなど、客観的な評価を心がけている」の肯定的な回答は低かった。「主体的、対話的で深い学び」につなげる授業は行っているが、それに伴う評価の方法については苦慮していることがうかがえる。
- ・ 「8. 私は、家庭での生活習慣について、折に触れ話題にし、児童に振り返らせている」「18. 私は、家庭での学習習慣を学級の話題にするなど、家庭学習の児童の意識付けを図っている」の肯定的な回答は低かった。学校内の指導は積極的に実践しているが、学校外（家庭・地域）の指導については苦慮していることがうかがえる。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- (1) 児童・保護者・教職員アンケートの結果から、各項目の肯定的評価の数値が高く、学校教育活動が児童にとって充実したものであり、自己肯定感の高い児童が増えている。また、感染症への対応も含めて、教職員の学習指導や生徒指導への対応について保護者からの理解も得られていると考えられ、教職員もそれを実感していると判断できる。今後も、学校と家庭・地域との連携を積極的に行い、安全・安心で開かれた信頼される学校づくりに努めていく。
- (2) 各教科の授業において、基礎基本を定着させるために、対話をつなぐ言葉かけ・働きかけを追求した。特に、ICT 機器（タブレット）を効果的に活用し、ドリル学習だけでなく、グループでの話し合いを通して自身の考えを深めていけるような授業展開を工夫して取り組んできた。また、タブレット端末を用いた授業を通してデジタル・アナログのメリット・デメリットについて、教職員同士で話し合いを重ね研究を進めることができた。今後もこれらの取組を、児童一人一人の成長や効果的な活用方法につなげていきたいと考える。

### 《課題》

- (1) 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて、授業においては聞く力が育ち、教職員も児童も学び合いについて見通しをもった活動ができるようになった。しかし、教職員は、その活動について客観的に評価することが難しいと感じている。
- (2) 悪口やいじめを見逃さず、一人一人を大切にしたい指導を心がけ、互いに認め合う教育活動を進めたことにより、子どもたちが安心して学校での生活を送ることにつながっていると考えるが、表面化していない問題を抱えている場合も考えられる。

## 6 改善策

- (1) 「自ら考え、共に学び合う学級・授業」を推進するため、教員の力量向上に向けて、研修の充実を図る。校内での研究授業の計画を立て、教員同士が互いの授業から学び合うことのできる環境を整える。また、あま市等で行われる校外研修会にも積極的に参加するように呼び掛ける。
- (2) 気になる児童についての情報交換を常に行い、気軽に相談できる雰囲気を作り、職員間の連絡を密にするとともに、学校生活アンケート・Q-U アンケートの結果や教育相談を通して、児童の些細なサインを見逃さないようにする。今後も、学校が組織として悪口やいじめを把握し、その認知を正確に行い、必要に応じた指導をすることで解決するように努める。



# 令和6年度 学校生活アンケート（児童）



そう思う。(あてはまる。)



どちらかといえば、そう思う。(あてはまる。)



どちらかといえば、そう思わない。(あてはまらない。)



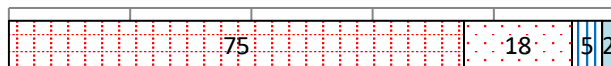
そう思わない。(あてはまる。)



「もっていない」「家の人とそうだんしたことがない」

0% 20% 40% 60% 80% 100%

1 わたしは、学校で たのしくせいかつできています。



2 わたしは、やすみじかんには ともだちといっしょにすごすことが おおいです。



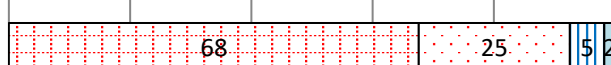
3 わたしは、まいにち「おはよう」や「さようなら」のあいさつを 先生やともだちにしています。



4 わたしは、そうじのじかんに いつもいっしょうけんめいにそうじをしています。



5 わたしは、かかり(や委員会)のしごとに まじめにとりくんでいます。



6 わたしは、学校のきまりややくそくを きちんとまもっています。



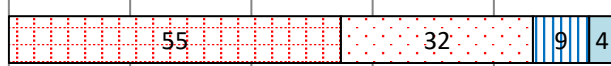
7 わたしは、ゲーム機・けいたいでんわを家の人とそうだんしたルールを まもってつかっています。『もっていない』『家の人とそうだんしたことがない』ときは、「5. そのほか」をえらんでください。)



8 わたしは、あそびにいくときには、「どこへいく」「なん時にかえる」など、家の人につたえています。



9 わたしは、わるぐちをいったり、ひとをきずつけたりしないよう、ことばづかいに気をつけています。



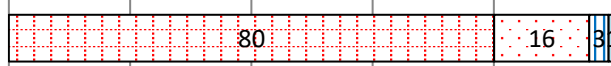
10 わたしは、家の人ときめた正しいお金のつかいかたをしています。



11 わたしは、からだのちょうしが わるいときに、どうすればよいか しています。また、きょうしつやろうかななどであべれたり、はしったりしないように 気をつけています。



12 わたしは、学校でかじやじしんがおきたときや「ふしんしゃ」に であったとき、どうすればよいか しています。



13 わたしは、きんじょの人やしているちいきの人に、あいさつを しています。



14 わたしは、そうだんできる友だちや、はなしをよくきいてくれたり、 アドバイスをしてくれたりする先生がいます。



15 じゅぎょうちゅう、先生は、わかりやすくおしえてくれます。



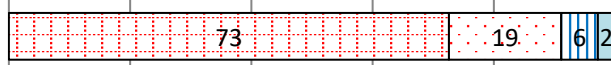
16 わたしは、じゅぎょうちゅう、先生のはなしやともだちのはなしを しっかりときいています。



17 わたしは、あさどくしよのじかんには、おしゃべりしないで しゅうちゅうして 本をよんでいます。



18 わたしは、前の日に、学校のようにやしゅくだいをすませます。



19 わたしは、しゅくだいを わすれずにやっています。



20 先生は、よいところをみとめ、なおしたほうがよいところを おしえてくれます。



21 みまもりたい、のうぎょうくらぶ、よみきかせボランティアのかたが、 みなさんのちからになっていることをしています。



22 がっこうでのがくしゅうやせいかつをとおして、じぶんがせいちょう しているとおもいます。





令和6年度 学校生活アンケート（保護者）

- そう思う(あてはまる。)

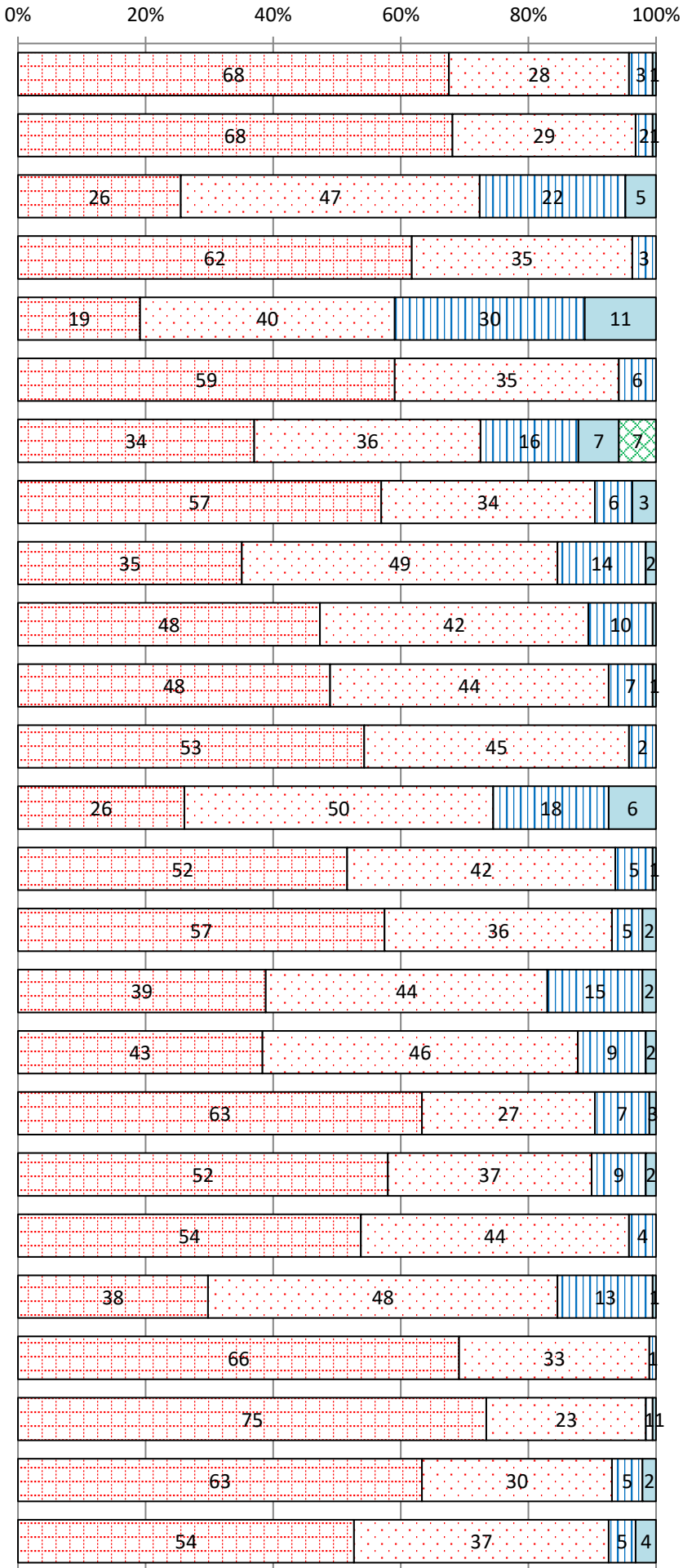
どちらかといえば、そう思う(あてはまる。)

どちらかといえば、そう思わない(あてはまらない。)

そう思わない(あてはまらない。)

「もっていない」「家の人とそうだったことがない」
- 
- 
- 
- 
- 

- 1
- 子どもは、元気に楽しく学校へ通っている。
- 2
- 子どもは、友だちと楽しく過ごしている。
- 3
- 子どもは、進んであいさつをしている。
- 4
- 子どもは、まかされたことにはまじめに取り組んでいる。
- 5
- 子どもは、家で決めた手伝いをしている。
- 6
- 学校は、学校のきまりや約束を守る態度を育てようとしている。
- 7
- ゲーム機・携帯電話の使い方を家族で相談して使い方を決めている。(与えていない場合は、「5 その他」に「○」をつけてください。)
- 8
- 遊びに行くときには、「どこへ行く」「何時に帰る」などを家の人に伝える習慣ができています。
- 9
- 学校は、悪口やいじわるについて、前向きに指導に取り組んでいる。
- 10
- 家庭で、お金の価値や使うときに正しい判断ができるよう子どもに話をしている。
- 11
- 学校は、体力づくりや健康、安全な生活習慣について適切に指導している。
- 12
- 学校は、火事や地震、不審者への対応方法を子どもに知らせ、訓練を行っている。
- 13
- 子どもは、先生や地域の人に進んであいさつをしている。
- 14
- 先生は、友だちや先生と好ましい関わりができるように心がけ、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。
- 15
- 先生は、わかりやすい授業や基礎基本を大切にした学力の向上に努めている。
- 16
- 子どもは、授業中、話を聞いて理解できている。
- 17
- 学校は、子どもたちに読書の習慣をつけようとしている。
- 18
- 子どもは、きちんと連絡帳を書き、次の日の用意や宿題を前日にすませている。
- 19
- 宿題の量は、家庭学習を習慣化させるために適切な量である。
- 20
- 先生は、子どものよさや思いを理解し、適切に評価している。
- 21
- コミュニティ・スクールとして、学校と保護者、地域が連携・協働し、子どもたちを育てていると思いますか。
- 22
- 学校での学習や生活を通して、お子様は成長していると思いますか。
- 23
- 先生は、学校に行ったときや電話の対応がていねいである。
- 24
- 持ち物や宿題、日程など、子どもに関する情報を連絡帳やプリントなどで十分知ることができ、けがなどトラブルの場合には、先生は必要に応じて子どもの様子を連絡してくれる。
- 25
- 学年通信やホームページ、きずなネットで学校の動きを適切に知ることができる。





令和6年度 学校評価アンケート（教職員）

- そう思う。(あてはまる。)
- どちらかといえば、そう思う。(あてはまる。)
- どちらかといえば、そう思わない。(あてはまらない。)
- そう思わない。(あてはまらない。)

- 1 私は指導している児童は、元気に楽しく学校へ通うことができている。
- 2 私は、(学級で)子どもたちの良好な人間関係を作り出すことができるよう、配慮や言葉がけをしている。
- 3 私は、あいさつや言葉遣いへの意識を高めるように指導している。
- 4 私は、児童の筆箱や机の中、ロッカー、掃除道具箱、トイレのスリッパなどの整理整頓を折に触れ指導している。
- 5 私は、係(や委員会)の仕事にきちんと取り組めるよう指導している。
- 6 私は、学校のきまりや約束を身につけるよう、常日頃から指導している。
- 7 私は、ゲーム機・携帯電話等の使用について、子どもたちの状況に注意を払い、折に触れ注意喚起をしている。
- 8 私は、家庭での生活習慣について、折に触れ話題にし児童に振り返らせるようにしている。
- 9 私は、悪口やいじわるを見過ごさないように心がけ、適宜指導している。
- 11 私は、けがをしないように、また、させないように、安全な学校生活が送れるように折に触れ児童に注意喚起している。
- 12 私は、学校で火事や地震がおきたときや不審者が侵入したときにどうしたらよいか、指導している。
- 13 私は、登下校指導などで地域の人と顔を合わせる機会があれば積極的にあいさつをし、子どもたちにも進んであいさつするように指導している。
- 14 私は、子どもの言葉や態度に注意してひとりひとりの状況を把握し、積極的に子どもと関わり、児童の実態をより的確につかむように心がけている。
- 15 私は、基礎基本を定着させるための学習や、授業に主体的、対話的な活動などを取り入れるように心がけ、常にわかりやすい授業をめざして工夫している。
- 16 私は、授業中、児童が話を聞いているかどうか、確認するように心がけている。
- 17 私は、朝読書の時間には、私語や他ごとを注意し、読書に集中させる環境を整えるように心がけている。
- 18 私は、家庭での学習習慣を学級の話題にするなど、家庭学習への児童の意識付けを図っている。
- 19 私は、毎日適度な量をこまめに宿題とし、家庭学習の習慣づけを図っている。
- 20 私は、児童の観察メモやノート点検等を資料化するなど、客観的な評価を心がけている。
- 21 コミュニティ・スクールとして、学校と保護者、地域が連携・協働し、子どもたちを育てていると思いますか。
- 22 私は、学校での学習や生活を通して、児童は成長していると思いますか。
- 23 私は、保護者の電話や訪問にたいねいに対応し、その願いや声に耳を傾け、適切な対応をとるように心がけている。
- 24 私は、保護者が安心して児童を学校に預けることができるよう、連絡帳の確認や学校からの配付物の把握、けがやトラブルに関する連絡等、情報の収集と発信を状況に応じて適切に行っている。
- 25 本校では、ホームページや学年通信、案内文書等で適切に学校の情報提供がされている。
- 26 本校では、教職員間の情報交換や相談がスムーズに行え、教育活動に役立っている。
- 27 本校では、校内研究組織が確立し、計画的な研修が実施されている。
- 28 本校では、自分を始め、公文書の収受・発送・保管や学年費などの管理が適切にされている。
- 29 私は、安全な学校生活が送れるように、教室や担当箇所の安全管理に努めている。
- 30 私は、担当の分掌を把握し、責任をもって対応している。
- 31 私は、学級経営や授業実践、校務分掌や週番等、担当する校務全般にわたって、関係者と相談しコミュニケーションをとるように心がけている。
- 32 私は、問題発生時には迅速に誠意をもって対応するよう努め、「報告・連絡・相談」を学年間・関係者間・管理職と常に行っている。

